

巻頭 カラー インタビュー	1
ワルドナー、フォン・シェレ(スウェーデン)	
カラー 特集	4
平成17年度前期日本リーグ宇都宮大会	
カラー ハイライト	6
第55回関東高校大会	
期待してます	7
村山真実(木更津総合高校)	
カラー 広告	8
明治乳業	
連続写真	10
王励勤(中国)のテクニック	
グラフィック 特集	14
平成17年度前期日本リーグ宇都宮大会	
日本の肖像	18
伊藤幸信(サンスター文具社長)	
一隅を照らす	20
暁卓球クラブ(福岡県)	
大会ハイライト	22
第55回関東高校大会	
インタビュー	24
太田康仁(武蔵野高校監督)	
トレーニング	26
武蔵野高校・中学	
最後の夏	27
近藤欽司(白鷺女子高校)	
訪問レポート	30
横浜隼人中学校(神奈川県)	
この人のこの言葉	32
藤井基男(卓球愛好家)	
練習のヒント	34
織部幸治(ITS三鷹代表)	



4月2日は、東大阪アリーナで開催された村上カプロのラージボール講習会

新・中学生のための卓球技術講座	36
田村明人(元・群馬県中体連委員長)	
気ままにタイムアウト	38
佐藤正喜(日産自動車監督)	
スポーツエッセイ	44
青柳雄介(スポーツライター)	
ラージボール講習会	49
村上カ、村上富貴父娘(ニッタク契約コーチ、選手)	
ラージボール父娘対談	50
村上カ、村上富貴	
ラージボール大会	52
千葉県、白山、漁火大会、栃木県、横須賀、高知市、ながい、取手・藤代、浜松、山形、いまいち、東京、目黒	
広告	54
卓球ファンnet	
ピンポン東西南北	39
第5チャンネル	40
各地レポート	42
みんなのコーナー	56
編集室	56

Message

近藤欽司先生ひきいる白鷺女子高校が、卓球部自体は残るがチームは今年が最後のインターハイとなる。

最後の予選は、6月19日に行われ、ポイントを取られ、ヒヤットする場面もあったが、見事1位となり、50年連続インターハイ出場を決めた。

50年連続以上の記録は、これまで男子の東山が今年55年連続を決めているが、女子では初めて。

近藤先生は、昭和40年に顧問となり、今年で41年。初陣は1回戦敗退。翌年は8強、3年目準優勝、そして、4年目に日本一になった。それまでの9年間は3位が最高位だった。

がむしゃらに、無我夢中でやった結果が優勝、と言う。ところが、卓球界は甘くなかった。翌年は2回戦、そ

して翌々年は1回戦敗退という屈辱の成績。

どうして勝てないんだろう、という時代が、それから10数年続く。「練習はこれまでに以上がむしゃらにやっていたのですが、もがけばもがくほど勝てなくて、泥沼に入ったような感じでした」

不運は不運を招く、とはよく言ったもので、体調を崩し、長期入院という最悪のシナリオがこの後に――。「小さい時から体には自信があったので……」

しかし、災い転じて禍の諺通り、この長期入院が近藤先生の指導方針を180度変え、昭和58年の2度目の優勝を皮切りに白鷺時代が続くことになる。

近藤先生の「ノンフィクション・ファイル」を今月より3回にわたり、掲載します。(片野)